

廃棄物（ごみ）に関するアンケート調査

平成20年10月 山梨県森林環境部環境整備課

県民の廃棄物に対する考え方を把握するため、県政モニターによるアンケート調査を実施した。

1 アンケート調査の実施時期

平成20年5月～6月

2 県政モニター数

(1) 一般モニター	(郵送によるアンケート調査)	383人
(2) インターネットモニター	(電子メールによるアンケート調査)	120人
<u>合 計</u>		<u>503人</u>

3 回答数

(1) 一般モニター	(郵送によるアンケート調査)	355人
(2) インターネットモニター	(電子メールによるアンケート調査)	104人
<u>合 計</u>		<u>459人</u>

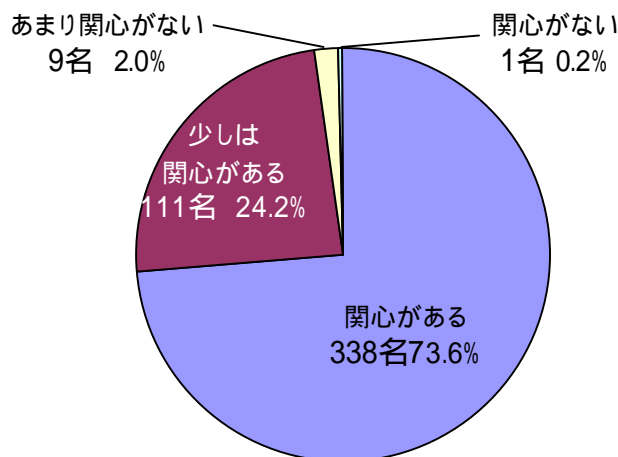
回 答 率 91.2%

4 集計結果

廃棄物（ごみ）に関すること

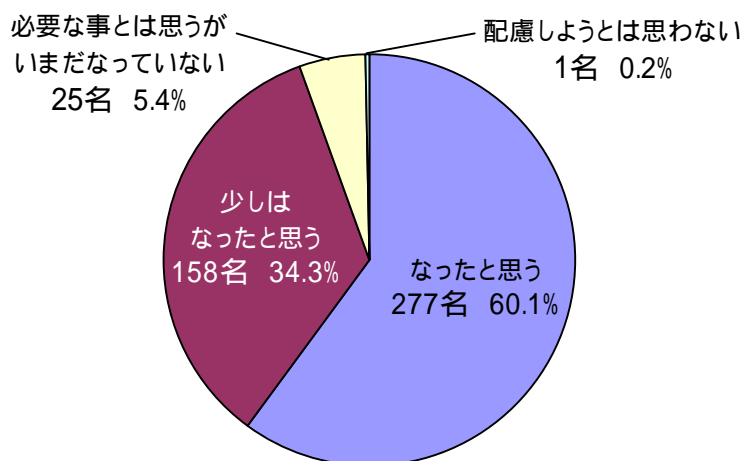
【問1】日常生活において、ごみ問題について関心がありますか？（回答者：459名）

「関心がある」、「少し関心がある」という回答が、97.8%でした。



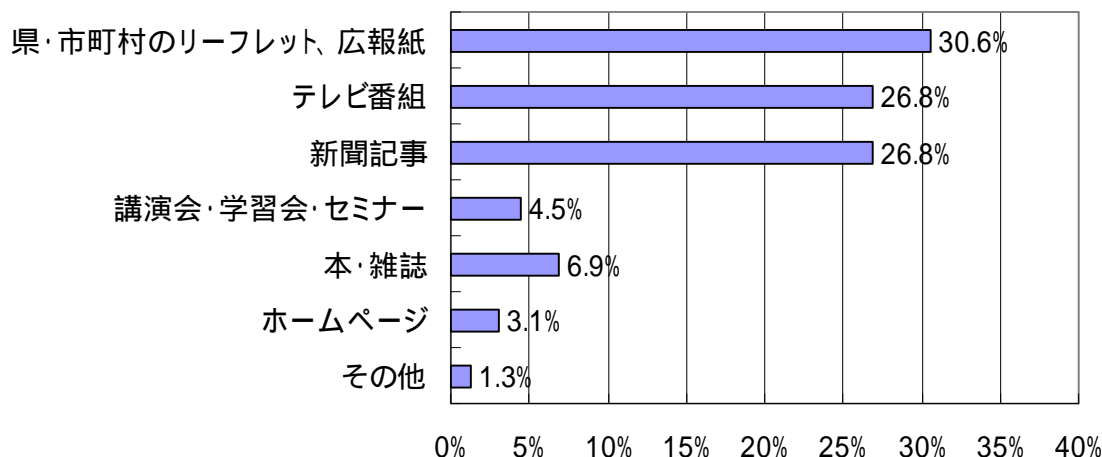
【問2】ごみをなるべく少なくしたり、リサイクルに回すなど、最近のご自身の生活が環境に配慮するようになったと思いますか？（回答者：461名）

「なったと思う」、「少しは、なったと思う」という回答が、94.4%でした。



【問3】ごみ問題の情報、知識はどこから入手していますか？ 三つまでお選びください。
 (回答数：1244)

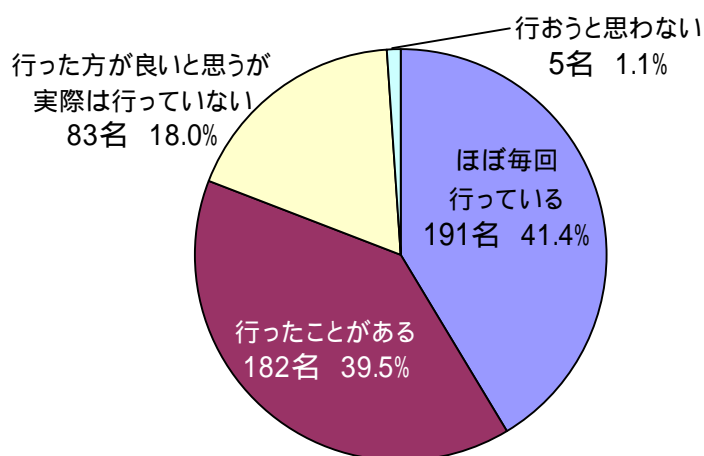
「県、市町村のリーフレット、広報紙」が30.6%、「テレビ番組」「新聞記事」のメディアが53.6%でした。



ごみ減量化の取り組みについて

【問4】ごみを減らすために、買い物袋を持参したり、レジ袋を断ったりしていますか？
 (回答者：461名)

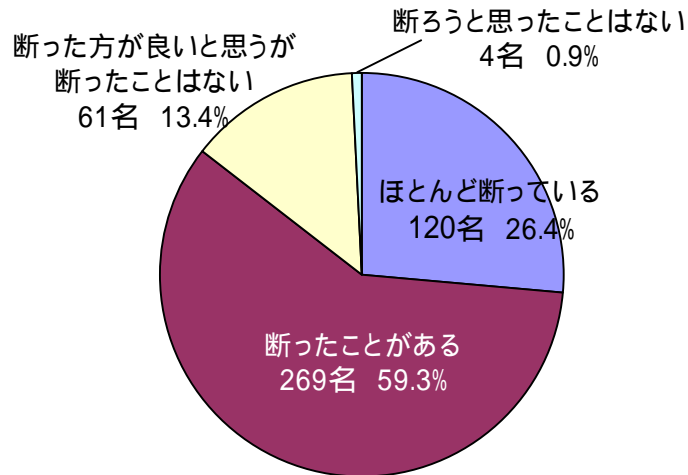
「ほぼ毎回行っている」「行ったことがある」という回答が、80.9%でした。
 一方、18.0%の人が「行った方がよいと思うが、実際は行っていない」という回答でした。



【問5】ごみを減らすために、店での過剰包装や不要な包装を断っていますか？

(回答者：454名)

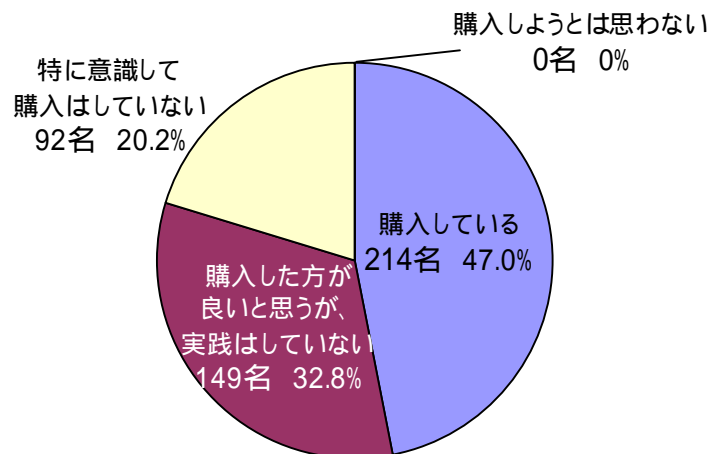
「ほとんど断っている」「断ったことがある」という回答が、85.7%でした。一方、13.4%の人が「断った方が良いと思うが、断ったことはない」という回答でした。



【問6】あなたは商品を購入するとき、包装されていないなどの、ごみが少なくなる商品や、長期間使用できる商品(使い捨て商品でないもの)を選んで購入していますか？

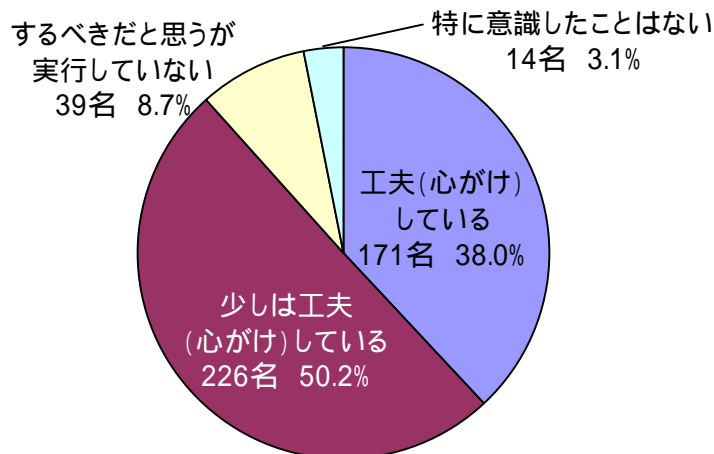
(回答者：455名)

「購入している」という回答が、47.0%でした。一方、32.8%の人が「購入した方が良いと思うが、実践はしていない」という回答でした。



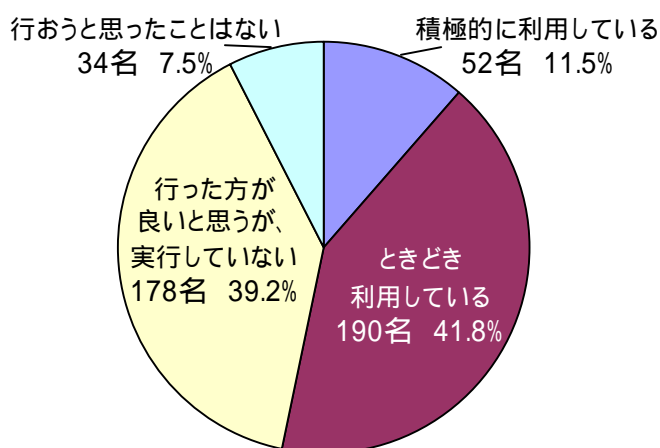
【問7】残り物を利用するエコクッキングをしたり、食材の買いすぎ、作りすぎに注意するなど、生ごみを少なくするような工夫していますか？（回答者：450名）

「心がけている」「少しは心がけている」という回答が、88.2%でした。



【問8】一時的に必要な物については、レンタルなどの利用やリユース品(中古品)の購入などを行っていますか？（回答者：454名）

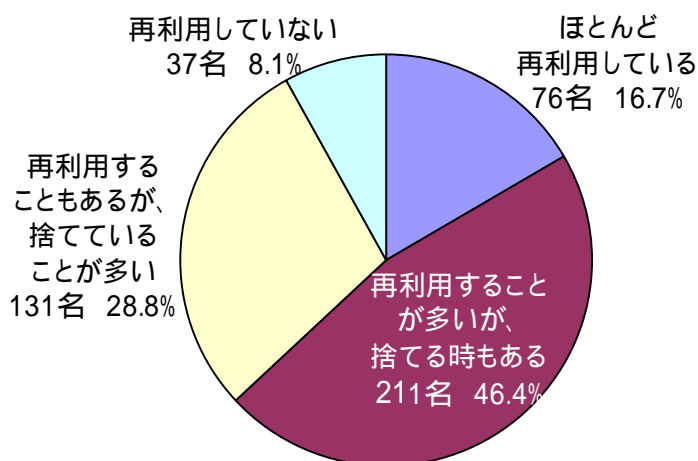
「積極的に利用している」「ときどき利用している」という回答が、53.3%でした。一方、39.2%の人が「行った方が良いと思うが、実行していない」という回答でした。



【問9】古着などは捨てずに、資源物の回収や、フリーマーケットに出したり、雑巾に加工するなど再利用していますか？（回答者：455名）

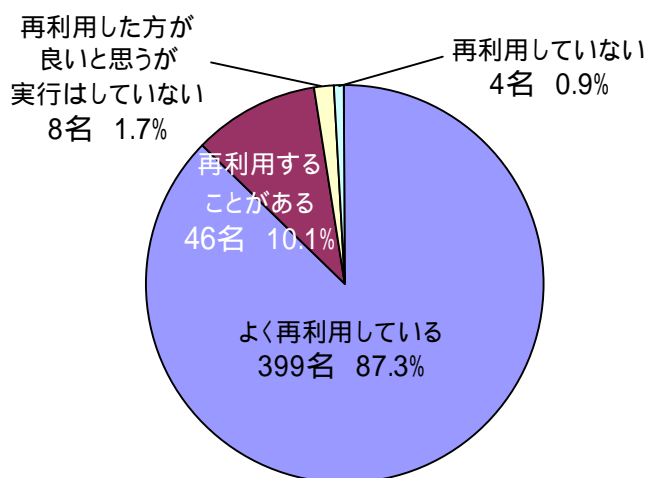
「ほとんど再利用している」「再利用することが多いが捨てる時もある」という回答が、63.1%でした。

一方、28.8%の人が「再利用することもあるが、捨てていることが多い」という回答でした。



【問10】洗剤やシャンプーなどは中味を詰め替えられる商品を選択し、容器の再利用(リユース)をしていますか？（回答者：457名）

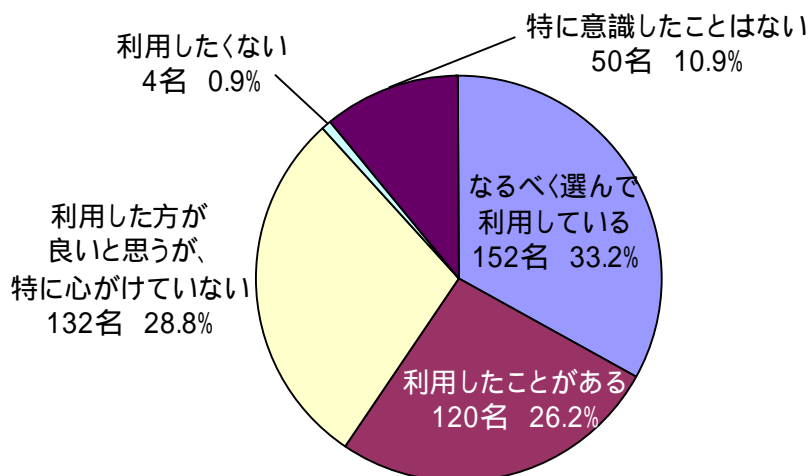
「よく再利用している」「再利用することがある」という回答が、97.4%でした。



【問 1 1】ピン入りのビールやジュースを選んで購入し、飲んだら空きピンを店に返すなど、リターナブル容器（再使用が可能な容器）の利用に心がけていますか？
（回答者：458名）

「なるべく選んで利用している」「利用したことがある」という回答が、59.4%でした。

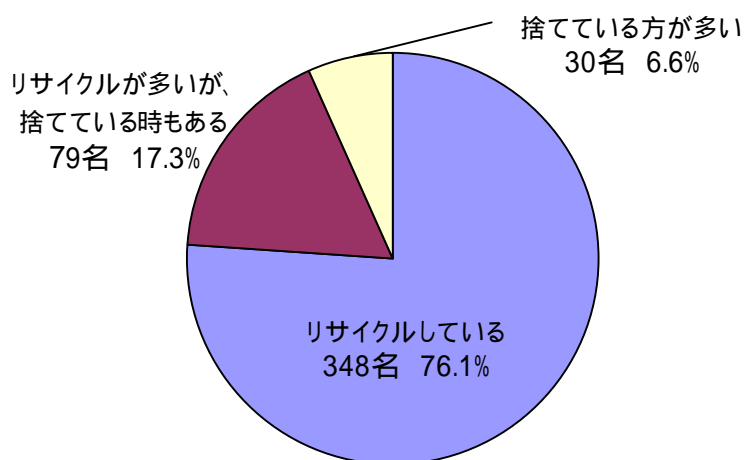
一方、28.8%の人が「利用した方が良いと思うが、特に心がけていない」という回答でした。



リサイクルについて

【問 1 2】ごみ減量化のため、缶、ビン、ペットボトルなどのリサイクルに取り組んでいますか？（回答者：457名）

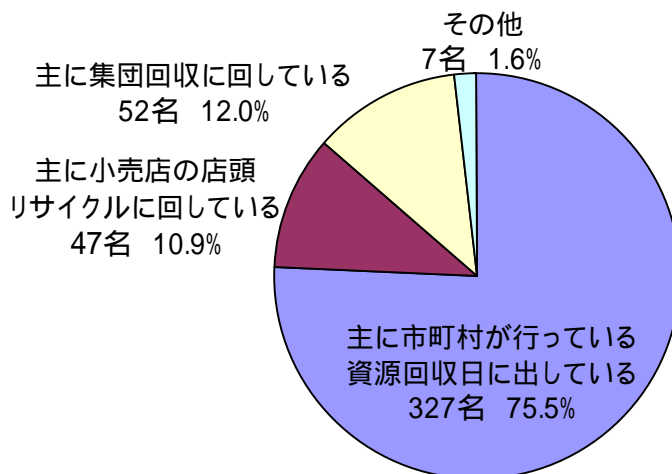
「リサイクルしている」「リサイクルが多いが捨てている時もある」という回答が、93.4%でした。



【問13】問12で「ア」又は「イ」と回答した方にお聞きします。具体的にどのように取り組んでいますか。（回答者：433名）

*問12で「ア」又は「イ」と回答した方以外の回答も含む。

「主に市町村の資源物回収日に出している」という回答が、75.5%でした。



【問14】エコマーク（環境マーク）など、環境にやさしい商品であることを表すマーク（いわゆる環境ラベル）の入った商品を購入していますか？（例 再生紙トイレットペーパー、再生原料の台所商品、再生原料使用の文具など）

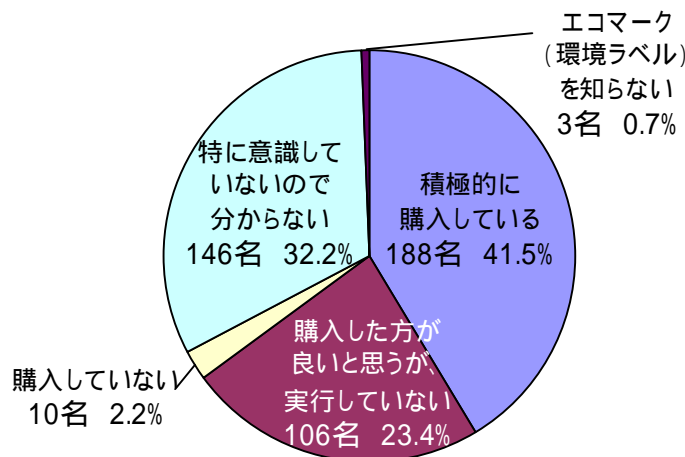
（回答者：453名）

環境ラベル 一例)



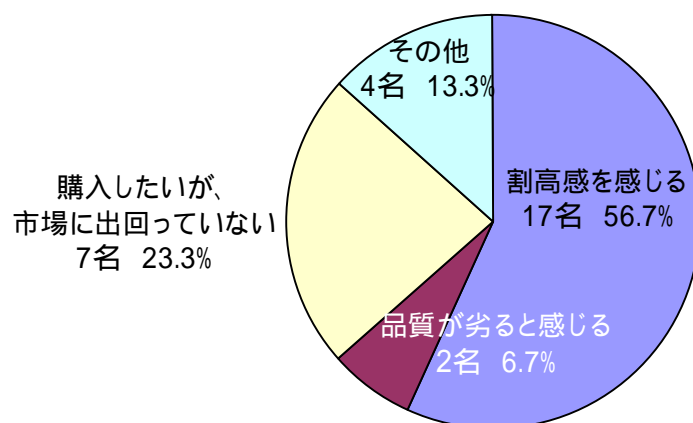
「積極的に購入している」という回答が、41.5%でした。

一方、「購入した方が良いと思うが、実行していない」「購入していない」という回答は、25.6%、「特に意識していないので分からない」という回答が、32.2%でした。



【問15】問14で「環境にやさしい商品を購入していない。」を選択された方はその理由を一つ選んでお答え下さい。（回答者：30名）

「購入していない」と回答した人以外の回答も含む。

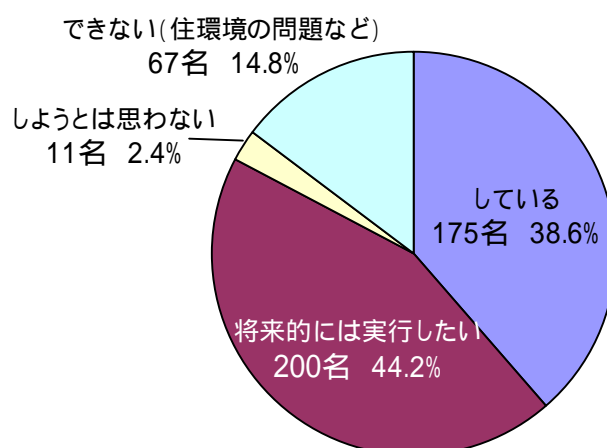


生ごみの処理方法について

【問16】生ごみを減量化（乾燥など）及び堆肥化等のリサイクルをしていますか？

（回答者：453名）

「している」「将来的には実行したい」という回答が、82.8%でした。一方、「できない（住環境の問題）」という回答は、14.8%あった。



その他

【問17】生ごみを減らしていくにあたって、新たな具体的な取り組み等何かご意見をお持ちですか？

主なご意見

- ・一人一人のごみ減量に対する意識が重要。
- ・生ごみ処理機への補助制度の充実や、機械のレンタル、無料配布。それらを広報で周知する。
- ・各家庭に生ごみ処理機を設置し、家庭菜園や植物の肥料にする。
- ・生ごみ処理機の機能向上(消費電力が少ない、悪臭が出ない、処理効率が良い、など。)
- ・スーパーなどで生ごみを回収する。
- ・生ごみの日を決め、一括して収集、堆肥化する。
- ・「EMボカシ」を生産して、生ごみを土に戻す。
- ・地区ごとに生ごみを堆肥化・乾燥化する設備を設置する。
- ・どのような居住環境(マンションなど)でも生ごみの堆肥化(減量化)できるようにする。
- ・減らすだけでなく、加工する新技術も必要。
- ・農薬を減らし野菜の皮まで食べられるようにし、食材を使い切るエコクッキングを行う。
- ・生ごみの水分をきって出す。
- ・過剰包装をやめる。

など

【問18】ごみを減らしていくにあたって、新たな取り組み等何かご意見をお持ちですか？

主なご意見

- ・ごみの有料化。
- ・ごみの有料化には反対。(不法投棄が増えるおそれがある為。)
- ・レジ袋、割り箸の有料化。
- ・レジ袋を断るとポイントになり還元される山梨県内共通のシステム作り。
- ・食品購入の際、容器を持参して必要量だけ購入できるようにする。
- ・スーパーのトレイやペットボトルを減らす。
- ・ピンを積極的に使用し、コンビニなどで回収する。
- ・詰め替え商品を積極的に購入する。
- ・プラスチック製品の回収。
- ・ミックスペーパーの回収の促進。
- ・リサイクルできる物をわかりやすく書いてあるリストを作る。
- ・地域ごとの数値目標の設定と表彰制度の導入。
- ・使い捨て商品の利用を禁止、もしくは最小限にする。

- ・企業も過剰包装をやめ、リサイクル商品の生産の促進などを進める必要がある。
- ・過剰包装をやめる。見た目にこだわらない考えを持つ必要がある。
- ・テレビなどで生ごみの排出量などの情報を知らせ、意識を高める。
- ・小さい頃から家庭や学校で、ごみ問題などの環境教育をしっかりとする。

など

【問19】リサイクルを今後さらに進めるために、新たな取り組み等何かご意見をお持ちですか？

主なご意見

- ・一人一人の努力が必要。
- ・資源物、ミックスペーパーの回収日をもっと増やす。
- ・県全体で分別方法を統一する。
- ・いつでも出せるリサイクルボックスを増設し、気軽にリサイクルできるようにする。
- ・一人暮らしの老人の家は分別とごみ出しを手伝ってあげる。
- ・分別区分を見直す。(もっと細かく設定する。)
- ・分別が複雑すぎるので、製造側、販売側で統一性を持たせる。
- ・フリーマーケットの促進。
- ・市役所、学校等にもリサイクルBOXを置き、リサイクルしやすい環境を作る。
- ・昔のちり紙交換のように、リサイクル品と交換できる特典があるとよい。
- ・小中学校で環境教育の取り入れ、子供にリサイクルの習慣を身につけさせる。
- ・定期的に関リサイクル講習会を開いて、実際にごみの分別を経験できるようにする。
- ・リサイクル商品の生産には補助金を出し、低価格化を実現する。
- ・剥がしやすいラベルにするなど、企業側の努力も必要。
- ・リサイクルされず放置されることがないように、行政が責任をもって指導する。
- ・他県や海外のリサイクル方法を学び、取り入れる。

など